

『急性期看護の基礎』

研修会実施報告

日時 : 令和4年12月20日(火) 8:30~12:30

対象者 : ラダーIを目指す者

参加者数 : 43名

目標 : 急性期の患者の基礎知識と技術を学び、看護実践に活用することができる

<講師の紹介>

特定看護師・臨床工学士

4階B病棟

K 主査



<内容>



急性期看護の基礎知識と技術を学び、看護実践に活用することを目標に研修が開催されました。

急性期の患者の全身状態を把握する為に、血液ガスデータや心電図の見方について教えて頂きました。

血液ガスデータでは、データを元に換気の状態を判断し、酸素投与量の指標を学ぶことができました。

心電図の見方では、異常波形を様々な心電図を見て学ぶことができました。受講生からは、「実際の心電図波形を見ながら問題を解いていくことで理解し

やすかった」「苦手意識がある心電図であったが基礎から教えていただき、最後に異常波形について復習する時間があつたことで、より理解ができた」等の意見が聞かれました。生命の危機的状態となる異常心電図について、実際の心電図から読み解き異常の早期発見に繋がられることを期待します。

安全な医療機器の取り扱いについては、輸液ポンプやシリンジポンプを正しく使用し、正確に治療薬が投与できるよう使用方法や注意点についても学ぶことができました。使用方法を間違ふことや注意点を理解していないことで、身体に危険を及ぼす可能性があることも再認識できました。

研修を通して、異常の前兆を示す検査データの根拠や意味について学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを看護実践で活かしてほしいと思います。